

産学協力研究委員会「日本におけるケミカルバイオロジーの新展開第 189 委員会」
平成 29 年度 第 3 回定例会 議事抄録

日時：平成 29 年 12 月 20 日（水）14:45-17:40

場所：大手町サンケイプラザ 3F 311 室

〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-7-2

TEL：03-3273-2257

出席者：長田裕之（理化学研究所）、穴澤秀治（（一財）バイオインダストリー協会）、浅見忠男（東京大学）、井本正哉（慶應義塾大学）、上村大輔（神奈川大学）、掛谷秀昭（京都大学）、永野栄喜（住友化学株）、町谷幸三（日本農薬株）、横田博之（アステラス製薬株）、吉田 稔（理化学研究所）、荒井 緑（千葉大学）、上杉志成（京都大学）、岡部隆義（東京大学）、河岸洋和（静岡大学）、木村禎治（エーザイ株）、西 剛秀（第一三共 RD ノバーレ株）、藤原秀安（富士フイルム株）、清水 力（クミアイ化学工業株）、藤本ゆかり（慶應義塾大学）、水島 淳（日本たばこ産業株）、宮本秀俊（JSR ライフサイエンス株）、由井 慶（株ファンケル）、吉田潔充（石原産業株）、古内 剛（Meiji Seika ファルマ株）、吉村 巧（クミアイ化学工業株）

事務局：大高潤之介（理化学研究所）、山口直美（理化学研究所）

（学界委員 14 名 産業界委員 14 名）

【議事】

1. 前回 第 2 回（平成 29 年 10 月 4 日）議事抄録【資料 1】の確認。
2. 第 44 回産学協力研究委員会委員長会議について長田委員長より報告がされた。【資料 2】協力会の今後の取組みとして、中小企業の取り込みと若手育成を方針とすることが報告された。
3. 各種委員会報告
 - ・編集委員会
長田委員長より特別事業（知識や技術の伝承等とりまとめ）「ケミカルバイオロジーの発展に貢献してきた化合物」に関する編集会議の報告がされた。【資料 3】編集委員会による編集作業・取りまとめが終了し、本定例会後に校正依頼を出すことが報告された。300～350 ページを予定。市販可能かを再度、企業に確認することになった。

<今後の編集計画>

2018 年 1 月～2 月 校正依頼
2018 年 3 月 修正原稿チェック
2018 年 5 月 ゲラ刷、確認
2019 年 1 月～2 月 発刊

4. 平成 29 年度、平成 30 年度の活動について

平成 30 年度活動日程は別途、日程調整表を配布して調整することになった。

平成 29 年度 第 4 回定例会のプログラムについて話し合わせ、下記候補にプログラム委員会より打診することになった。

候補 iPS 研究所 臓器関係の先生
候補 大阪大学工学研究科 メタボロミクス研究室 福崎英一郎教授
候補 京都大学大学院理学研究科 森和俊教授
候補 神戸大学大学院医学研究科 吉田優准教授
候補 大阪大学大学院生命機能研究科 吉森保教授

5. 委員交代について【資料 5】

委員交代 3 名
産学界員 富士フイルム(株) 2017 年 11 月 1 日付
嶋田 泰弘 委員 → 藤原 秀安 委員
産学界員 Meiji Seika ファルマ(株) 2017 年 11 月 1 日付
米沢 実 委員 → 古内 剛 委員
産学界員 クミアイ化学工業(株) 2017 年 12 月 20 日付
清水 力 委員 → 吉村 功 委員

6. その他

【研究会】 15 : 20-16 : 30 (講演 20 分+質疑 10 分)

1. 木村禎治 委員 エーザイ(株)
2. 穴澤秀治 委員 (一財)バイオインダストリー協会

【特別講演】 16 : 40-17 : 40 (講演 45 分+質疑 15 分)

「中国を中心とした世界各国の科学技術情勢の調査分析について」
国立研究開発法人科学技術振興機構 研究開発戦略センター
上席フェロー 林 幸秀 氏

上記予定通り開催された。

文責：山口（事務局）